

福島第一原子力発電所の廃止措置等の進捗状況

(2025年11月10日時点)

地域の皆さまとともに進める廃炉

福島の地で廃炉関連産業が活性化することで、雇用や新しい技術が生まれ、復興につなげていく

当社は、「復興と廃炉の両立」を大原則に掲げ、地域の皆さまとともに廃炉事業を着実に進めていくことが重要であると考えています。こうした思いのもと、地元企業さまの新規参入や受注機会の創出に取り組んでいます。

主な取り組み① ～廃炉スタディツアー～

- 地元企業さまに廃炉の現状を視察いただき、今後の事業活動の参考としていただくことを目的に、福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局※1登録企業を対象に、福島第一原子力発電所の視察会を開催しています。
- 参加いただいた地元企業さまからは、「福島第一原子力発電所の状況がよく理解できた」「今後、廃炉関係でお手伝いできる分野の参考となった」等の声をいただいています。



廃炉スタディツアーの様子

※1 廃炉事業に関心のある地元企業さまの参入支援を行う相談窓口として、公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構、公益社団法人 福島相双復興推進機構、当社の三者にて共同運営。

主な取り組み② ～中長期発注見通しの作成・公開～

- 地元企業さまが、より積極的かつ計画的に廃炉事業へ参入いただけるよう、向こう10年程度の主要な廃炉作業の流れを示した「廃炉中長期実行プラン」に基づき、今後の発注予定案件を「中長期発注見通し」として毎年度とりまとめ、同事務局ホームページに掲載しています。
- 発注予定案件については、作業内容や作業エリアに加え、環境条件、工期、発注予定時期を記載しています。
また、地元企業さまの参入が見込まれる作業は「地元企業の候補作業」としてわかりやすく記載しています。

福島第一原子力発電所
廃炉中長期実行プラン2024に基づく
「中長期発注見通し」について

分類	機械・電気	土木	建築	その他
発注	設計	設計	設計	設計
発注	設計	設計	設計	設計
発注	設計	設計	設計	設計

2. プール燃料取り出し
件名No. 04
「2号機燃料取扱設備点検手入れ
工事」

発注内容	発注時期	発注金額	発注回数
2号機燃料取扱設備点検手入れ工事	2026年7月～2026年9月	約1,000万円	1回

主な作業内容

①2号機燃料取扱設備の点検点検を実施する。
②2号機燃料取扱設備の点検点検として、クレーン等の点検を実施する。

作業上の制限：①未定、②クレーン操作
発注先持ち材料：①消耗品（グリス、パッキン等）、②各種消耗品
作業に必要なと思われる道具・機材：点検に使用する道具は当社から貸与予定。

主な作業エリア

①2号機燃料取扱設備点検点検（燃料取扱機、ジブクレーン、走行台車、油圧吊ボンプ等）
②2号機燃料取扱設備点検点検（燃料取扱機、ジブクレーン、走行台車、油圧吊ボンプ等）

工期（予定）

2026年7月～2026年9月 ※以降も継続的に実施予定（工期・発注時期・発注回数未定）

発注予定時期

2026年5月

中長期発注見通し

福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局による成約実績

こうした取り組みを通じ、同事務局に登録いただいている地元企業さまの成約件数は、これまでに延べ1,730件※2となっています。

※2 2020年7月（福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局設立）以降、2025年10月末時点までの件数となります。

～復興と廃炉の両立に向けた福島の皆さまへのお約束～

今後も、地元企業さまが継続的に廃炉事業へ参入いただけるような環境整備を進めるとともに、関係機関との連携を強化しながら、「お約束」に基づく取り組みを着実に実施してまいります。

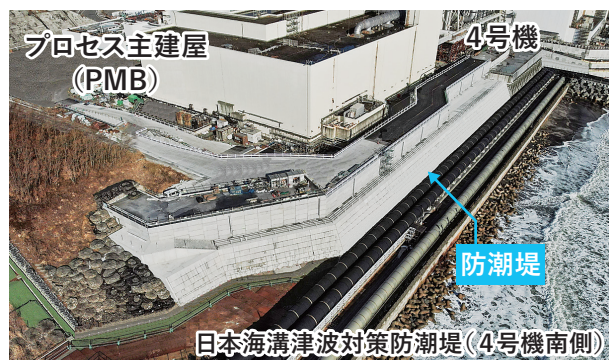
「復興と廃炉の両立」については、こちらもご確認ください。▶

廃炉事業での地元企業さまの活躍状況

廃炉作業の現場では、**地元企業さま**の積極的な参入により、**廃炉の着実な進捗**に大きく貢献いただいています。そうした地元企業さまの取り組みの一例を紹介します。

主な活躍状況①

日本海溝津波対策防潮堤工事では、4号機南側プロセス主建屋周辺の狭隘で施工条件の厳しいエリアにおいて、地元企業さまが工事を担当しました。当該エリアは敷地境界に近くセキュリティ関連設備もある等の課題もあり、その解決や調整に積極的に取り組んでいただき、期日通りに工事を完遂いただきました。



主な活躍状況②

5/6号機側のエリアの防潮堤対策工事について、地元企業さまが工事を担当しました。本工事は、社会的な関心が高いALPS処理水希釈放出設備の重要設備を守るための防潮堤工事でした。工程の順守が大きく期待される中で、積極的に工期短縮の検討をする等、工事を円滑に進めていただきました。



主な活躍状況③

減容処理設備では、建設時にも携わっていただいた地元企業さまが、設備の運用・保守を担当しています。運用から保守までを一貫して実施いただいているため、機器トラブル発生時の対応等が効率化されました。さらに、専用治具の開発により作業時間が大幅に短縮され、設備の稼働日数の向上が実現されました。



現在も多くの地元企業さまに廃炉事業へ参入いただき、各現場において重要な作業を担っていただいております。当社は、こうした地元企業さまとの連携を通じて「**復興と廃炉の両立**」の実現を目指しており、今後も地元企業さまの強みや得意とされる分野を丁寧にお伺いしながら、**地域の皆さまとともに廃炉事業を進めてまいります**。

編集発行
責任者

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

廃炉コミュニケーションセンター コミュニケーション企画グループマネージャー

〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

本紙に関するお問い合わせ

TEL (0240) 30-5531 (平日午前9時～午後4時)

こちらでもご覧いただけます。

【1ForAllJapan】<https://1f-all.jp/>
目次より「いちえふのいま」を選択

